



防災力を高めて、災害に備えよう

自然災害は、いつ襲ってくるかわかりません。突然私たちを襲う災害から、自らの命、大切な命を守る力、地域の人たち、地域の安全を守る力が、防災力です。震災（それに伴う津波）だけが災害ではありません。台風・豪雨・竜巻などの風水害、それらの災害に伴うがけ崩れなど、火山の噴火も。私たちが備えるべき災害はたくさんあります。



富士山の噴煙？

数年前の、ある秋の夕暮れ
片瀬山五丁目からの風景 雲のいたずらです

皆さんと地域の防災力を高める一助として、
私たちは「防災訓練・安否確認訓練」を実施してきました。

片瀬山防災訓練のお知らせ

片瀬山自治会協議会・片瀬山防災会は今年も、防災訓練を実施します。

- ・ 日時：2022 年 11 月 20 日（日）10：00
- ・ 場所：片瀬中学校 アリーナ・校庭

大地震震度体験、濃煙体験、防災グッズ、消火器の使用法など準備中です。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底します。

皆様のご参加をお願いします！！

防災訓練への参加が災害時にあなたの命を守る助けになります

安否確認訓練も併せて行います。

防災訓練には、上履き、防寒具のご持参をお願いします。

「風水害に備えて」みんなで考えよう！

今夏の猛烈な暑さが過ぎ去ったら、経験したことのないような豪雨、台風と、連続して全国で風水害が発生しています。

片瀬山では浸水被害の恐れはないからと、安心はできません。強風、竜巻、がけ崩れなど備えなければならないことはたくさんあります。

「ふじさわ防災ナビ」で**台風など風水害にどう備えたらよいか**確認しましょう。（風水害は、事前に備えることができる災害です。）防災ナビ P17

「まず確認」 洪水・内水・土砂災害ハザードマップ（藤沢防災ナビ P75）

自分の居場所（自宅）の危険度を把握しておきましょう。

「避難情報が出る前に」 自宅や安全な建物で待機が原則ですが、避難が



困難な人、災害に不安を感じる人は、避難情報が出る前に安全な地域の親戚の家、ホテル・旅館等への非難を検討してください。

「もしも屋外にいたら、危ない場所には近づかない」

海、川、急傾斜地、アンダーパス（地下道）、側溝など危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。

「崖や傾斜地が近い場合は」



急傾斜地で次のような崖崩れの前兆現象が見られた場合は、避難情報を待たずにできるだけ早く避難しましょう。

- ・斜面の途中から水が噴き出す
- ・小石がバラバラ落ちる
- ・樹木が倒れたり揺れたりする
- ・地鳴り、山なりがする

「防災無線が聞き取れないときは」 TEL0180-99-4144 藤沢防災行政無線

警戒レベル、避難情報などが市の防災行政無線で放送されます。聞き取れない場合電話で確認できます。



9月18日、TVは台風14号と台湾で発生した震度6強の地震ニュースを報道していました。自然災害はいつ私どもに襲ってくるかわかりません。防災訓練で普段の備えを確認しましょう。初めて参加の方大歓迎です。2回目3回目の方それ以上の方も大歓迎です。



発行： 片瀬山防災会
発行責任者：羽根尾公也
編集責任者：広報グループ
若月